やけど



＃7119番で症状の相談 p.29

急いで流水や氷などで冷やす

- ☐ 皮膚が黒く焦げていたり白くなっていたりする。
- ☐ 全身又は広範囲のやけどである。

1つでも該当

119番
救急車を呼ぶ！



- ☐ 水ぶくれ（水疱）ができている。
- ☐ やけどした範囲がそのこどもの手のひらの大きさである。
- ☐ 顔、手のひら、関節部分のやけどである。

1つでも該当

○休日夜間急患センター　○救急医療機関



- ☐ 範囲が狭く、赤いだけで水ぶくれ（水疱）になっていない。

十分に冷やして、診療時間になってからかかりつけの先生に診てもらってください。

（連休や年末年始のときは、翌日に休日夜間急患センターや救急医療機関を受診してください。）



ただし

症状が大きく変わった場合は休日夜間急患センターや救急医療機関を受診してください。
※受診するか迷ったら＃7119にご相談ください。



観察ポイント

① 流水（水道を流しながら）でも、保冷剤（ハンカチ等で包む）でもよいので、とにかく冷やしましょう。
② 冷やす時間は最低15分以上、痛みがなくなるまで出来るだけ長く冷やし続けましょう。
③ 衣類などは無理に脱がさず、そのまま冷やしましょう。
④ 水ぶくれ（水疱）が破れないように注意しましょう。
⑤ 受診するまでは自分の判断でやけどした場所に何も塗らないようにしましょう。